

科目名	福祉行財政と福祉計画						
Course Name	Welfare Administration and Finance and Outreach Programs						
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	研究室:栄養棟3階か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修、社会福祉主事任用資格に係る科目)						
関連 DP	DP3 DP4 DP5						
授業の概要と到達目標	<p>財政確保と計画的な福祉推進が強く求められる昨今、社会保障を支える行政組織・国・県・市町村の役割・機能及び社会保障の財源確保と問題点について理解する。また、地域福祉計画等、福祉の計画化と推進方策について理解する。</p> <p>①国と地方自治体行政の流れを理解し、福祉行政を説明できるようにする。 ②民間福祉事業の在り方と福祉計画の策定プロセス等について説明できるようにする。 ③国・県・市町村の福祉行政や財政問題等について説明できるようにする。 ④各福祉計画を調べ、県、市町村の状況、施策を分析、評価できるようにする。</p>						
授業の方法	基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。ただし、理解を深めるため、演習、グループワーク、ディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	地方自治体の行財政について説明することができる。					
	L04	地方分権と合併のもたらす社会福祉行財政の現状と課題を説明することができる。地域福祉計画等福祉の計画策定の重要性を認識し、説明することができる。					
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:授業中に指示します。 参考書:『福祉行財政と福祉計画』第4版 社会福祉士養成講座・中央法規 『地域福祉のはじめかた』藤井博志編/ミネルヴァ書房						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。履修上のルールを守らない場合は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			70	
その他					

合 計		30	70	
------------	--	----	----	--

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等)
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認
2	授業内容	地方自治のしくみ
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
3	授業内容	福祉の財政
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
4	授業内容	税金
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
5	授業内容	地方分権と合併
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
6	授業内容	福祉行政と専門職の役割①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
7	授業内容	福祉行政と専門職の役割②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
8	授業内容	福祉課のしごと
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをする。
9	授業内容	福祉計画の理論と技法① 福祉計画の視点と過程
	事前・事後学習	事前:自分の出身地の地域福祉計画を取り寄せる。 事後:授業で行ったグループワークを完成させる。
10	授業内容	福祉計画の理論と技法② 福祉計画におけるニーズ把握と評価
	事前・事後学習	事前:自分の出身地の地域福祉計画を取り寄せる。 事後:授業で行ったグループワークを完成させる。
11	授業内容	福祉計画の実際① 各福祉計画の分析評価(1)
	事前・事後学習	事前:自分の出身地の地域福祉計画を取り寄せる。 事後:授業で行ったグループワークを完成させる。
12	授業内容	福祉計画の実際② 各福祉計画の分析評価(2)
	事前・事後学習	事前:自分の出身地の地域福祉計画を取り寄せる。 事後:授業で行ったグループワークを完成させる。
13	授業内容	福祉計画の実際③ 各福祉計画の分析評価(3)
	事前・事後学習	事前:自分の出身地の地域福祉計画を取り寄せる。 事後:授業で行ったグループワークを完成させる。
14	授業内容	福祉計画の実際④ 各福祉計画の分析評価(4)発表
	事前・事後学習	事前:発表の準備 事後:発表の振り返り
15	授業内容	後期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強